

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宇治徳洲会病院増改修工事	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年10月15日
敷地面積	44,691㎡	作成者	
建築面積	1,130㎡	確認日	2023年11月10日
延床面積	5,030㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE=0.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境効率 (BEE) vs 環境負荷 (L)</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 3 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.0	Q2のスコア= 3.5	Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.8

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 2.7	LR2のスコア= 2.7	LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>計画のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存本館のスペースの補完および機能強化のための増築 利用者にわかりやすく、職員が働きやすい環境づくり 	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>・病室の界壁には遮音壁を採用し各室のプライバシーに配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・厨房排気ダクト(屋外ダクト含む)にガルバリウムダクトを採用し、長寿命化に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・敷地全体への調和による施設づくりに配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・高効率な照明器具を採用し、省エネルギーに配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水型の衛生器具を採用し、上水使用量の削減に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・敷地内には適切に緑化を施し、良好な環境が確保できるように配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される